

# 上海レポート

令和2年12月号  
Vol.4



公益財団法人 大阪産業局上海代表処 (大阪府上海事務所)

中国上海市延安西路 220 | 上海国際貿易中心 408室 200336 Email osaka@ibo-sh.com.cn

TEL 86-21-6270-1901 FAX 86-21-6270-1351 http://osaka-sh.com.cn

20201207号	「世界初、デジタル人民元の実用化近し?!」	所長 長野眞由子
20201214号	「新エネルギー関連のビジネスチャンスが拡大する中国」	副所長 大山知宏
20201221号	「コロナ禍のマラソン大会」	所長 長野眞由子

-----  
20201207号 「世界初、デジタル人民元の実用化近し?!」 所長 長野眞由子  
-----

中国では現在、主要国では初めてとなるデジタル通貨の発行準備を進めています。

日本でも知られているように、すでに中国は一大キャッシュレス社会。ほとんどの買い物、公共交通機関やタクシーの利用、シェアバイクの乗車などもスマートフォン一つで済んでしまいます。私は上海に住んですっかり財布を持ち歩く習慣がなくなってしまい、一時帰国中にもうっかり財布を忘れて出かけ、何もできなかったことがあるくらいです。

現在のモバイル決済システムは、アリババやテンセントといった民間企業によるものですが、デジタル人民元は中央銀行が発行するもの。デジタル化によりお金の流れがデータ化され、金融犯罪の防止につながることで、中国国内の口座を保有しない場合でも利用できるよう設計が進んでいることから、国際的に人民元の利用が促進されることなどが期待されています。また、インターネット環境がない場所でも使用可能なため、インフラの整っていない山間部や、災害時でも決済手段として使うことができます。

すでに現金がほとんど使われていない中「今さら」感があるのか、実は私の周辺ではあまりこの話題を聞かないのですが、中国において11月11日に続き大セールが行われる12月12日には、上海市近郊の江蘇省蘇州市でこのデジタル人民元の大規模実証実験が行われる予定となっており、いったいどのように運用されるのか、これまでのモバイル決済と比べて使い勝手はどうかなど興味津々です！

日本にいて、中国に口座を持たずに人民元でビジネスができる日も近いかもしれません。

今後もデジタル人民元のニュースには注目し、皆さまのビジネスに役立つ情報をシェアさせていただきたいと思います。

-----  
20201214号 「新エネルギー関連のビジネスチャンスが拡大する中国」 副所長 大山知宏  
-----

大阪府は、新エネルギーの一種である水素・燃料電池関連産業の振興に取り組んでおりますが、ここ中国では、同分野のマーケットポテンシャルが拡大し続けております。

政府もこの動きを後押ししており、今年10月、中国自動車エンジニアリング学会が発表した「省エネルギー・新エネルギー車技術ロードマップ2.0」では、2035年までに、燃料電池自動車(FCV)の保有台数を約100万台とする数値目標が示されました(日本は2019年度末で3,695台)。また、ここ上海市でも先月、水素エネルギー関連産業の発展に向けた計画が発表され、2023年までに1万台のFCVを普及させることや、産業規模を約1,000億元(約1兆5,900億円)まで引き上げること等が示されました。

こうした商機を逃さないように、上海事務所では、展示会の出展支援、地元政府や現地企業とのネットワーキングなど、中国へビジネス展開を行う府内企業の積極的なサポートを行っております。



来訪者多数の大阪ブース

今年の9月に上海市で開催された、水素・燃料電池に関する中国最大規模の展示会では、渡航制限で出展が出来ない府内企業6社の代理として、当事務所が商品PRやバイヤーとのマッチング等のサポートを行いました。

中国の水素・燃料電池関連産業の最新情報にご関心がございましたら、いつでもお気軽に上海事務所までお問合せ下さい！

---

20201221号「コロナ禍のマラソン大会」 所長 長野眞由子

---

新型コロナの市中感染をほぼ抑え込むことに成功している中国では、大規模イベントも少しずつ開催されるようになってきました。マラソン大会もその一つです。

いまだに感染への警戒が厳しい北京では、今年40周年を迎える予定だった北京マラソンが残念ながら中止となってしまいましたが、11月27日には上海、12月13日には広州と、大規模なマラソン大会が続いて開催されました。

上海マラソンは、例年であれば4万人近くのランナーが集結する大会ですが、今年は9千人に大幅縮小。スタート前・ゴール後のマスク着用、スタートブロックごとに時間差を設けたウェーブスタートの採用など、感染防止のための工夫があちこちに見られました。

その2週間後の広州マラソンはなんと2万人のランナーが参加し、コロナ前とほとんど変わらない規模で開催されました。今後も各地で、徹底した感染対策のもとマラソン大会が再開されていくことでしょう。

中国においてもマラソン愛好家は多く、日本で大人気のブランド、NIKEのシューズやウェアは中国ランナーにも大変な人気です。もちろん、わが日本のブランドの愛好家も数多くいます。また中国発のスポーツブランドも個性的で機能性の高い商品を次々に展開してきており、今後は大会の開催と相まって、ますますの消費促進に期待が持てそうです。

過去の「上海レポート」、「中国(上海)ビジネスサポート(無料)」

[https://www.obda.or.jp/jigyo/ibo/overseas\\_shanghai.html](https://www.obda.or.jp/jigyo/ibo/overseas_shanghai.html)

発行・問合せ：公益財団法人大阪産業局上海代表処(大阪府上海事務所)

URL: <http://osaka-sh.com.cn/> E-mail: [osaka@ibo-sh.com](mailto:osaka@ibo-sh.com)